



心を育てる学校に②

校長 岡 和香子

学校は、楽しくて学べる場でなければならないと考えます。行事が多く、人間関係も密になる2学期に、子供たちがより良い人間関係を形成できる力を伸ばす取組を行ってまいります。

9月に入り、全学級で「いじめ防止・友達とのより良い関わり」について考える道徳の授業を実施しています(行事等の都合によりこれから実施する学級もあります)。



授業を通して子供たちがどんなことを考えたのか、授業を見たり、ノートやプリントに書いたものを見せてもらったりしています。

子供たちの考えをいくつか紹介させていただくと、

・仲間はずれにされていたら、とも子(主人公)みたいに助けられるような自分になりたい。

「行動した方がいいと思う理由は？」

・かわいそう、もあるけど、一番はほっとけないから。

・せっかくの遠足でいやな気持ちの人がいてほしくない。

遠足なのに楽しくない人がいてほしくないから。

・かわいそうだし、悪いことだから。悪いことは放置すると悪化していくから。

「勇気とは？」

・かわいそうだと思ったら、がんばって話しかけてあげる。一人ぼっちにさせない。

・こわくても悪いと思うことは助ける。

・友達をすくいたいという気持ちが「正しい勇気」だと思う。

不安に思うこともあるけれど、「こうありたい」と思う気持ちもしっかりもっている子供たちの姿を見ることができました。その思いに応えられる学校でなければなりません。一人一人が「なりたい自分」になれるよう、全教職員で指導を続けてまいります。

また、お子様に心配な様子が見られたら、遠慮なくご相談ください。引き続きのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。